

みんなが住みやすいやさしいまちをつくらう

バリアフリーってなに？

バリアフリーとは、みんなと一緒に生きていく社会の中にある、バリアをなくすことです。バリアとは誰かの困り事を作っている原因のことです。障がいのある人だけでなく、妊婦さんや外国のかたなど、様々な人たちが困っていることがあります。いろんな立場の人が、不自由なく暮らすためにバリアのない社会を目指すことが大切です。

どんなバリアがあるの？

物理的なバリア

バスや電車、道路、たて物などで、移動をむずかしくさせること。

例) せまい道路や坂道、電車とホームのすきまや段差、道をふさいでいる人や自転車など。



文化・情報面でのバリア

情報の伝え方が不十分なために、必要な情報が平等に伝わらないこと。

例) 点字や手話つうやくのないイベント、むずかしい言葉など。



制度的なバリア

社会のルールや制度によって、障がいのある人ができることにも関わらず平等にチャンスを与えられないこと。

例) 学校や会社の試験などで障がいがあることを理由に断るなど。



意識上のバリア

障がいを理由に、周りから心ない言葉やさべつを受けたり無視されること。

例) 障がいに対して理解をせず、かわいそうな存在だと決めつけたり、きつく当たるなど。



世界の人口のうち、障がいのある人々がしめる割合は15パーセントです。およそ7人に1人は何らかの障がいを抱えているとされています。

「こころのバリアフリー」を考えよう

バリアはせつびを整えるだけでは解消しません。みなさん一人ひとりが「その立場になって行動をする」ことでバリアフリーは進められ、さべつやへんけんのない社会をつくることができます。

困っている人に気づいたら声をかける、また、自分の何気ない行動が誰かのバリアになっているかもしれないと考えて行動することが大切です。相手の立場を考えて行動することでバリアのないみんなが住みやすい社会を広げていきましょう。